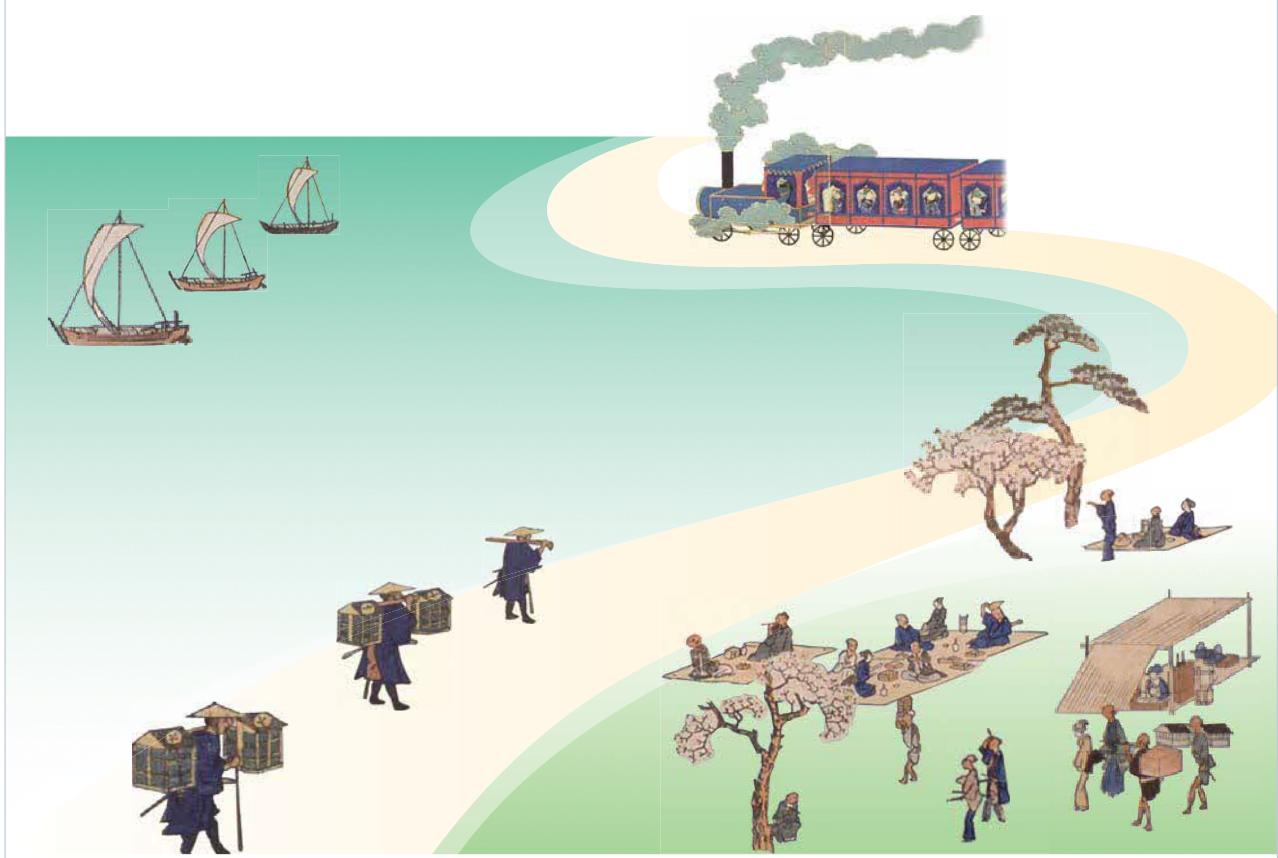


# 品川歴史館リニューアル基本計画

## 概要版



2020年3月  
品川区

## リニューアルの基本方針

### 1. 豊富な資料と品川の特徴を活かした品川の魅力の発信

豊富な収蔵資料を柔軟に活用しながら、先人たちの歩みをいきいきと伝え、品川の魅力を多面的に紹介する。

### 2. 現在とのつながりを重視した新たな展示・交流空間の創造

歴史を過去のものとせず、現在とのつながりの視点を重視しながら紹介し、最新情報についても積極的に発信する。

### 3. 施設の特徴や活動実績を活かしたオリジナル体験の提供

書院や茶室、庭園や大森貝塚遺跡庭園等を活かし、ボランティアの協力も得ながら、ここならではの体験を積極的に行う。

### 4. 活発な交流や連携を育む拠点づくり

来館者の興味や目的に応じて、展示見学以外にも多様な過ごし方ができる場として整備し、リピート利用につなげる。

## ターゲット

### ①区内の子どもたち

地域学習の拠点  
品川が好きな子どもたちの育成

### ②区民

日常的な利用の促進  
地域への誇りや愛着の醸成

### ③国内外からの観光客

品川の魅力を PR  
品川の歴史や今を発信

## コンセプト

# 品川の歴史を学び、今をシェアし、“新たな歴史”を区民の手で刻んで、 未来につなぐ中心拠点へ

品川歴史館を中心に、モノ、ヒト、コトの3つの“わ”が広がり、  
品川の財産と子どもたち・区民・観光客をつなぎ、新たな交流を生み出します



区民や子どもたちが歴史を自分につながる身近なものととらえ、いきいきと主体的に活動できる場へ。  
観光客にも品川の魅力が届き、活動エリア・担い手が拡大し、品川区全体にミュージアム活動を広げます！



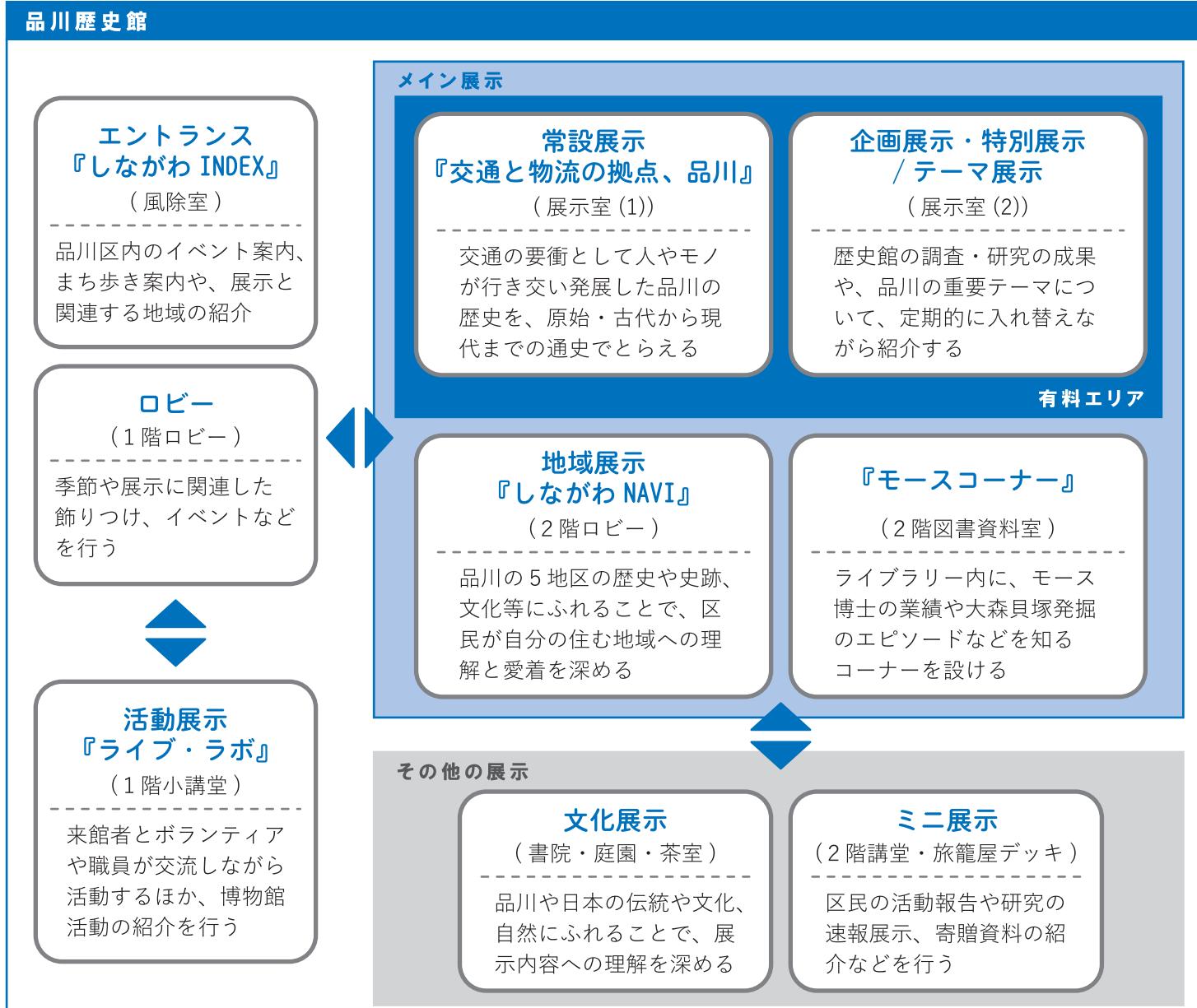
## 施設リニューアルの考え方

- ①無料の交流エリアを明確にし、気軽に立ち寄りやすく、地域とつながる拠点を整備
- ②来館者が利用できるスペースを拡充し、多様な場面で活用できる場をめざす
- ③豊富な資料を適切に保存し、積極的に公開・活用
- ④一つの場を複数の目的で可変的に活用できるよう工夫し、限られた空間を有効活用
- ⑤ユニバーサルデザインに対応した施設ヘリニューアル

## 展示リニューアルの考え方

- ①豊富な資料を活かし、通史を扱う「常設展示室」と、多様な展示ができる「企画展示室」を整備
- ②地域学習の拠点として、5地区を紹介する地域展示「しながわ NAVI」を新設
- ③来館者が博物館活動に参加・交流できる場として、活動展示「ライブ・ラボ」を新設
- ④展示室に限らず、ロビーや講堂なども活用して様々な展示を行い、リピート利用を促進
- ⑤実物資料、模型、体験型展示、情報端末等を組み合わせた最適な展示手法を検討

### 品川歴史館

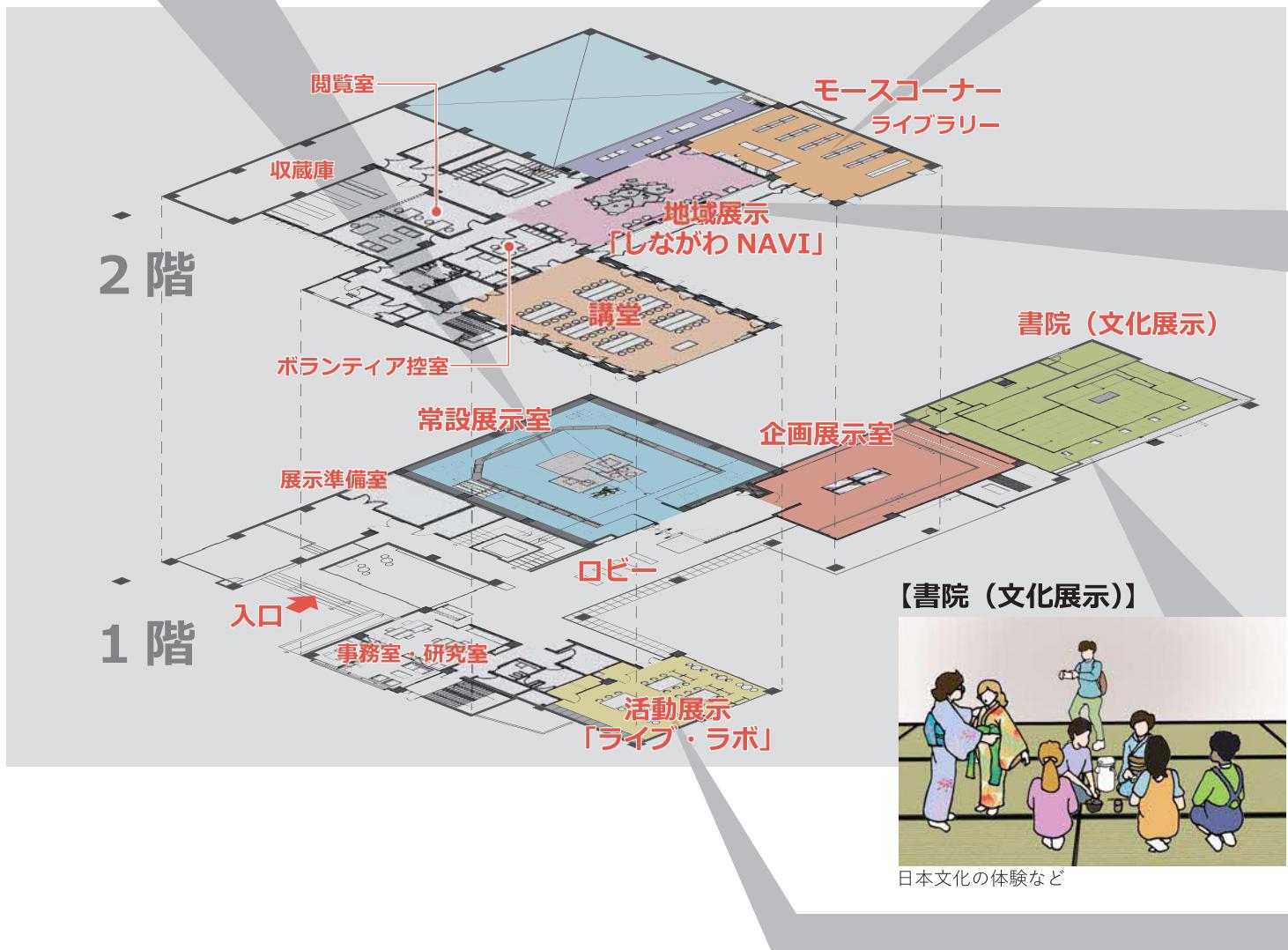
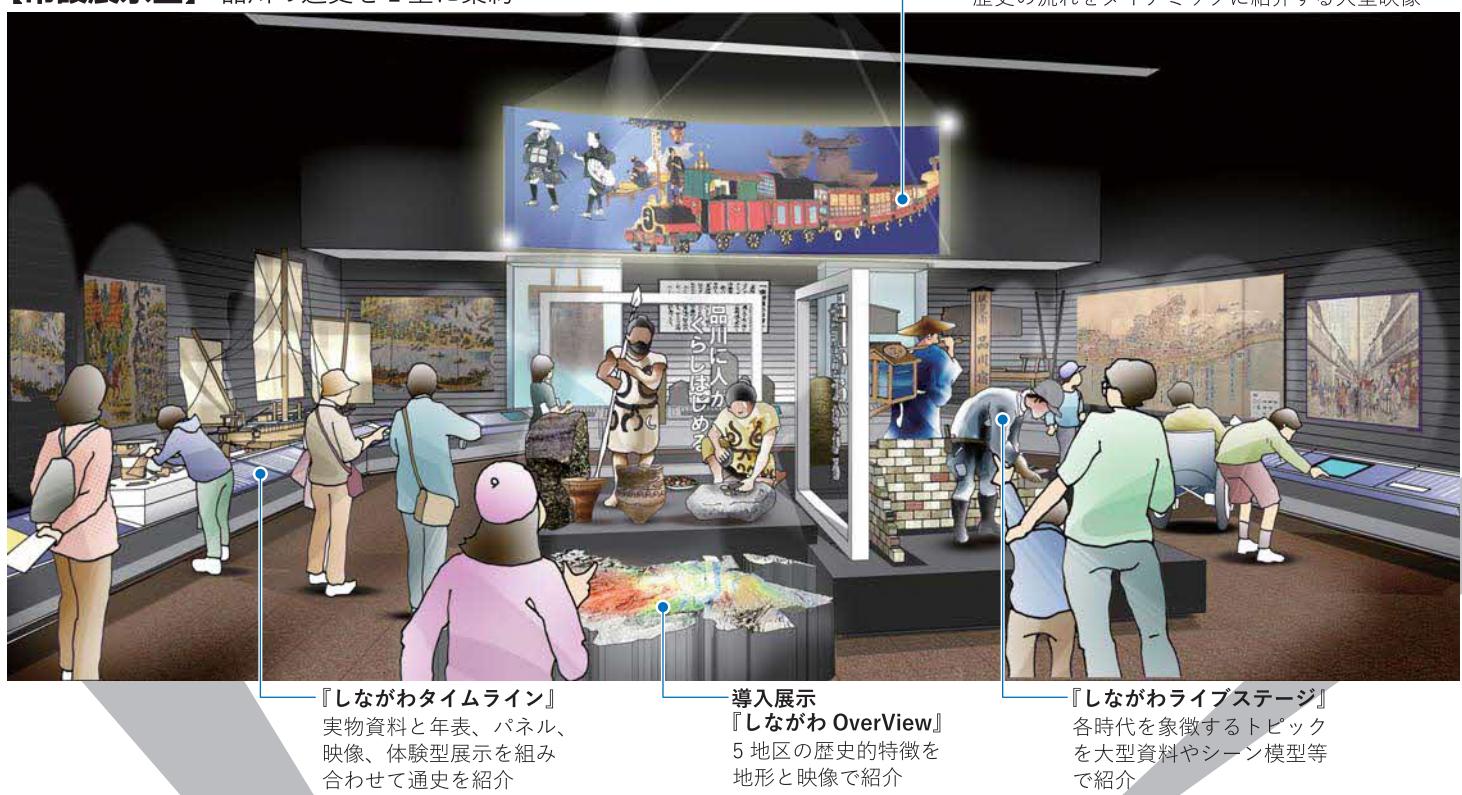


### 品川区内全域

史跡、文化財、学校、区内施設等

## ●展示の展開イメージ

**【常設展示室】** 品川の通史を1室に集約

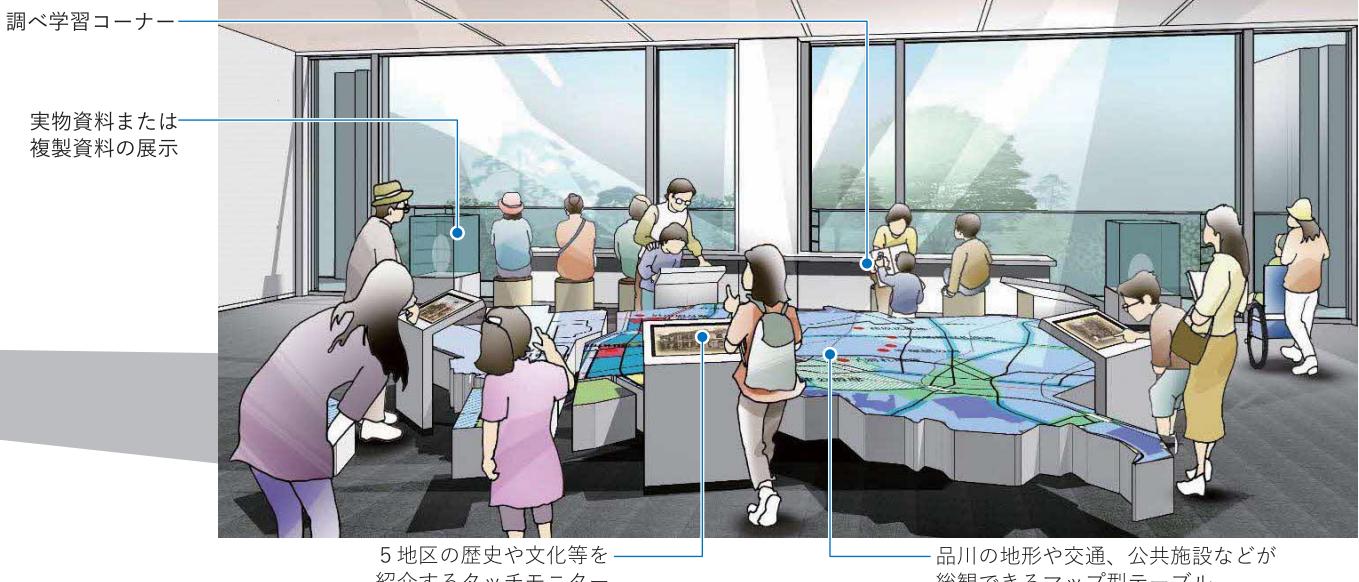




## 【モースコーナー】 モースの書斎をイメージした空間で著書やゆかりの資料を紹介



## 【地域展示「しながわ NAVI」】 5つの地区ごとに特徴や歴史的なトピック等を紹介



## 【活動展示「ライブ・ラボ」】 区民の活動や交流、成果発表の場



## ●活動の充実化

### 1. ボランティアの活性化

現在の展示解説に加え、資料整理やイベントのサポートなど、活動の幅を広げる。また、活動拠点となる部屋を館内に整備し、養成講座や連携イベントなども実施する。

### 2. 関連団体や施設とのネットワーク強化

#### ① 近隣の博物館や文化施設など

- ・展示や企画において、単館では難しい規模や内容の事業を実現するほか、来館者の周遊による近隣の文化施設全体の活性化のため、近隣の博物館や文化施設等と合同で事業を行うことを検討する。

#### ② 歴史文化サークル、関連団体など

- ・施設利用のほか、連携イベントの開催、区内で活動実績のある諸団体と連携したまち歩きプログラムなどを検討する。

#### ③ 大学・専門学校・高校

- ・調査・研究や企画展示、教育プログラム、イベント等での連携を検討する。
- ・学校との連携を充実させるため、教員や研究者と連携した合同研究や講座、教材開発などを検討する。また、高校の部活動、学校の文化祭などと連携した取り組みについても検討する。

#### ④ 企業・事業者

- ・区内のゆかりのある企業・事業者をはじめ、職人・アーティストなどの協力を得て、ここでしかできない事業展開を検討する。

-モノ・ヒト・コトの“わ”をつなぐ-

### 関連団体や施設との ネットワーク強化

### 品川歴史館

#### 歴史文化 サークル 関連団体など

連携イベントの開催  
史跡めぐりツアー  
施設貸出 等

#### 近隣の 博物館や 文化施設など

展示・企画の連携  
資料貸借 等

#### 大学 専門学校・高校

展示やイベント等  
での連携

#### 活動をつなぐ 学芸員・職員



#### 企業・事業者

展示やイベント等  
での連携  
しながわCSR  
推進協議会

#### 教員・研究者

学習教材や  
プログラムの  
合同研究  
講座の共催

#### 活動を支える ボランティア



#### 職人・アーティスト など

ロビー等での実演  
連携イベント 等

#### 高校の部活動

ジオラマや展示  
づくりの協力等

# リニューアル後の活発な利活用のための取り組み

## 周辺施設などとの連携

### ①大森貝塚遺跡庭園との連携

- ・ AR アプリを利用したまち歩きコースや展示に関連したプログラムを提供する
- ・ 館内の展示と遺跡内の体験を連携させたプログラムを実施する

<例>考古学チャレンジ

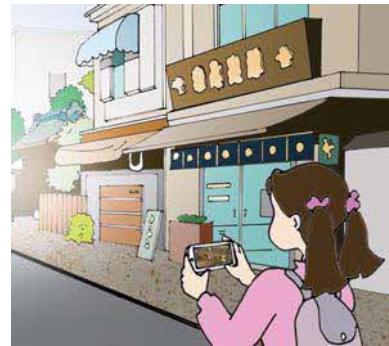
実際の道具を使った模擬発掘体験で、考古学の一端に触れる



遺跡内解説ガイドのイメージ

### ②品川宿など区内の史跡や文化財との連携

- ・ 館内のまち歩きマップや展示解説で史跡や文化財を紹介し、現地にいざなう
- ・ 品川宿の復元模型を現在の町並みと見比べる AR など、既存の資料を活用してまち歩きをより楽しむためのツールやツアーを計画する



品川宿復元 AR のイメージ

### ③区内の小中学校・義務教育学校との連携

- ・ 学校教育と連動した展示・プログラムを提供する
- ・ 教員との勉強会の開催、教員研修への協力、資料集等の教材の共同開発などにより、教育現場のニーズを恒常に取り込む
- ・ 館内における学習機会・スペースを充実させ、調べ学習や交流活動を活性化する
- ・ 学習教材の貸し出し、出張授業、学習教材の作成などを検討する



出張授業のイメージ

### ④区内施設との連携

- ・ 企画展示の共催や区内施設への出張展示などを行い、区民が歴史資料に触れる機会を増やす
- ・ スタンプラリーイベントなど、区内施設を周遊して楽しむ企画を検討する

### ⑤ 交通アクセスの改善

- ・ 周遊バスなどの誘致や近隣での駐車場確保などを検討し、駅や区内外の主要施設からの交通アクセスの改善を図る

## 広報・情報発信

- ①ホームページ・SNSなどの活用や、チラシ・ポスター配布など、広報発信を今まで以上に拡充し、区民や地域の子どもたちの利用を促進する。
- ②館内の情報受発信機能を充実させ、繰り返しの利用や地域学習、利用者同士の交流などを活性化させる。

## 諸室の活用

- ①企画展示・特別展示に関連した講座やイベント、書院や庭園などを利用した民間企業への委託事業など、集客事業を積極的に実施する。
- ②施設の貸室を通して、来館者数を増やす。また、非貸出時には一般公開し、認知度を高めて今後の利用活性化につなげる。

## ショップの充実

- ①学術的資料に加え、品川らしさを生かしたオリジナルグッズを開発し、商品の充実化をはかる。
- ②館内だけでなく区内施設や商店街での扱いを検討するなど、販売方法を多様化し、グッズを通して歴史館の知名度向上につなげる。



## 品川区立品川歴史館

〒140-0014 東京都品川区大井 6-11-1

電話 : 03-3777-4060 FAX : 03-3778-2615

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/jigyo/06/historyhp/hsindex.html>